

# 学校再編ニュース

《第15号》(平成28年12月19日発行)



《発行》小樽市教育委員会(適正配置担当)  
電話 0134-32-4111(内線 537)  
FAX 0134-33-6608  
Eメール gakkō-tekisei@city.otaru.lg.jp

～ 市民の皆さんの理解と協力により学校再編を進めています ～

## 1 手宮中央小学校が開校しました

本年4月1日に、北手宮小学校、手宮西小学校、手宮小学校、色内小学校(通学区域の一部)が統合し手宮中央小学校が開校しました。

また、色内小学校(通学区域の一部)が長橋小学校と稲穂小学校にそれぞれ統合するとともに、塩谷中学校が長橋中学校と統合しました。

新たなスタートを切った「手宮中央小学校」「長橋小学校」「稲穂小学校」「長橋中学校」では、統合を契機に新たな学校づくりに取り組んでいます。

今回は「手宮中央小学校」の活動をお知らせします。



手宮中央小学校開校式

## 手宮中央小の学校づくり

— 地域に根ざした学校にするために —

手宮中央小学校では統合したそれぞれの学校の伝統と良さを生かしながら、新たな学校づくりを進めています。

「地域で育て 地域で育ち ふるさとを愛し、将来の小樽を担う子供の育成」を基本方針に掲げ、地域に根ざした学校を目指して、学校、保護者、地域で「小樽市立手宮中央小学校支援チーム」を組織し、活動を行っています。

手宮中央小学校  
教育目標  
やさしい心を  
もつ子ども  
自ら学ぶ  
子ども  
たくましい  
子ども



6年生による観光ガイド

また、特色ある教育として、ふるさと教育にも力を入れており、5年生から「おたる案内人」のジュニア育成プログラムに取り組んで、小樽の歴史を学習し、6年生は運河公園で市民や観光客に観光ガイドを実践しました。

また、5、6年生で行う外国語活動のほか、国際理解教育として、3、4年生が英語に触れ親しむ学習を行っています。

授業では挨拶や自己紹介、各国の行事など、楽しく英語を使った学習と探求活動を行っています。



4年生の国際理解教育

## 2 中央・山手地区の地区別懇談会を開催しました

中央・山手地区では、中学校の再編について、保護者・地域との懇談会を開催しました。

教育委員会の説明内容と参加者からの意見等を紹介します。なお、紙面の都合上、意見等については一部の掲載となります。懇談会では多くの意見等をいただいております、詳細は小樽市ホームページに掲載しております。

### (1)西陵中学校(平成28年1月26日開催)・松ヶ枝中学校(平成28年1月27日開催)

#### ○教育委員会からの説明内容

以下のとおり考え方を説明しました。

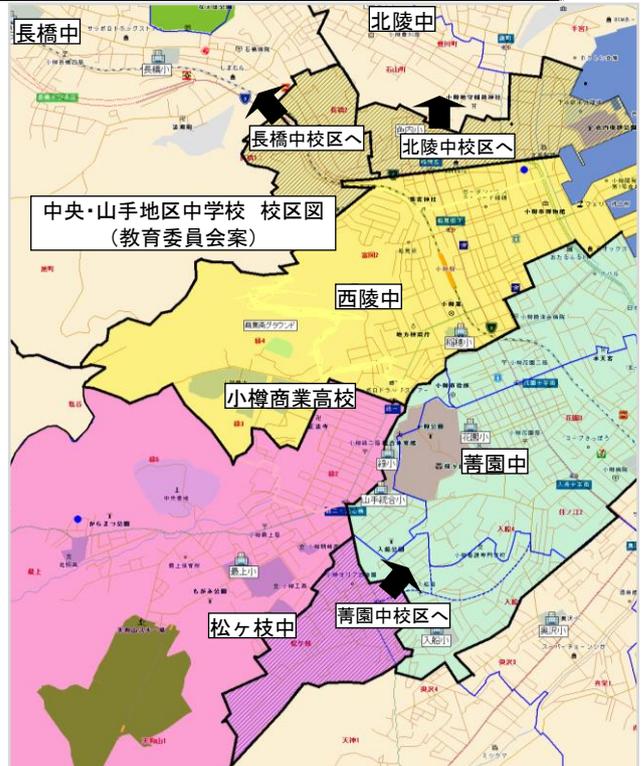
中央・山手地区の中学校は現在の3校を2校に再編し、2校のうち1校は菁園中学校、もう1校は西陵中学校と松ヶ枝中学校の統合校とすること。

統合校は両校の校区境界付近にあり、恵まれた教育環境などから、小樽商業高校閉校後の学校施設とすること。

また、隣接校との校区の調整については西陵中学校校区のうち、旧色内小学校校区の一部を長橋中学校校区と北陵中学校校区とし、松ヶ枝中学校校区のうち入船小学校校区を菁園中学校校区とすること。

#### ◇懇談会での意見の一部と回答

- ・商業高校グラウンドは校舎敷地から320m離れ、教員から目が届かない。また、トイレや休憩場所がなく、入口も狭く緊急車両が入れないとの意見があり、校舎から離れたところにグラウンドがあることは教育委員会でも認識しており、どのような解決策がとれるか検討していく旨説明しました。



### (2)西陵中学校(平成28年3月22日開催)・松ヶ枝中学校(平成28年3月23日開催)

#### ○教育委員会からの説明内容

1月の懇談会の説明内容と同じ。

#### ◇懇談会での意見の一部と回答

- ・商業高校グラウンドが校舎敷地から320m離れていることに対する対策について、どのようなことを想定しているかという質問があり、体育の授業や部活動については、基本的に教員が指導するのが原則ですが、それができない可能性もあるため、連絡方法などを検討すること、トイレの改修や緊急車両が入れるスペースを確保することなどを検討している旨説明しました。
- ・西陵中学校を統合校と想定した場合のプランを示してほしいとの意見があり、精緻なものになるか分からないが、そのプランを示す旨説明しました。

### (3)松ヶ枝中学校(平成28年7月11日開催)・西陵中学校(平成28年7月12日開催)

#### ○教育委員会からの説明内容

商業高校グラウンドが校舎敷地から320m離れていることに対する対策として、校舎敷地内に中学校設置基準を充たすグラウンド(約4,900㎡)を新たに設置し、これを統合校のグラウンドとする考え方を説明しました。

また、西陵中学校を統合校と想定したシミュレーション資料を示し、教育委員会の検討結果として統合校とすることは適切と考えることができない旨説明しました。

#### ◇懇談会での意見の一部と回答

- ・西陵中学校と松ヶ枝中学校グラウンドの大きさはどれくらいか、商業高校の校舎敷地に新しいグラウンドをつくるというが、どのくらい費用がかかるのかとの質問があり、グラウンドの使用可能な面積は、西陵中学校6,000㎡、松ヶ枝中学校7,800㎡で、新しいグラウンド整備費については、現段階では概算で1億5千万円の見込みで、国の補助などを活用していく考えを説明しました。

- ・お金を掛けてグラウンド整備をして商業高校を統合校にするより、35人学級にすることにより学校再編の前提である学級数の確保することができるのではないかとこの質問があり、35人学級については、効果的であり必要だという考えを持っていますが、教員の配置は国の予算で賄っているという事情もあり、市独自で教員を雇う場合は、グラウンドを整備するという一時的なものとは違い、人件費は継続してかかるため、グラウンド整備とは比べることはできない旨説明しました。
- ・松ヶ枝中学校校区からの通学方法を工夫するなどし、西陵中学校が統合校となるよう考えてほしいとの意見がありましたが、これまでの懇談会で、出席者から、松ヶ枝中学校は、通学距離が近い学校と統合した方が良いとの意見をいただいていることや、教育委員会としては、松ヶ枝中学校の校区から、西陵中学校への通学であれば距離が遠くとも良いと考えることはできないため、教育委員会が示したシミュレーション資料は、松ヶ枝中学校の校区から、西陵中学校と菁園中学校への通学距離を比較して作成したものであることを説明しました。

### 3 平成29年度の北山中学校・末広中学校の統合に向けて

#### (1)北山中学校・末広中学校統合協議会

北山中学校と末広中学校の統合校である北陵中学校の開校に向け、諸課題について協議しています。

校訓や教育目標を決定したほか、新しい学校づくりの方向性を示すグランドデザインや具体的な取組などをまとめました。

また、校歌の歌詞、校章デザインを選定したほか、統合時の1年生から着用する制服とジャージを選定しました。



統合協議会（末広中学校図書室）

#### (2)北陵中学校の校訓及び教育目標

校 訓 「よりよく創る」

教育目標 「小樽の未来をつくる 北陵生の育成」

- 深く学び、考え、表現できる生徒
- 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

教育の目標は社会に有為な人材を育てることにあります。その根幹を貫くのは今よりもさらにと思う向上心です。「創る」とは「ゼロ」からの創造であり、熟考し、人と知恵を出し合い、あるべき姿を追い求め、形として表すことがこれからの時代を生き抜く子どもたちには必要な力です。世界に羽ばたく北陵生となるべく、3つの人づくりを目標として掲げています。

#### (3)北陵中学校の校歌の歌詞及び校章デザイン

##### 校歌の歌詞

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p>1番 われらの海は 紺碧に<br/>海原はるか みつめつつ<br/>北陵 北陵 よりよく学び<br/>このふるさとの 人となれ</p> | <p>2番 われらの空は 天高く<br/>希望を友と はばたかせ<br/>北陵 北陵 よりよく語り<br/>このふるさとの 風になれ</p> | <p>3番 われらの道は 悠遠に<br/>夢をいだきて 歩みつつ<br/>北陵 北陵 よりよく生きる<br/>このふるさとの 明日になれ</p> |
|--|--|--|

【作詞者】宮澤 知さん

～ 作品への想い～

北陵中学校の生徒は常に世界を見つめつつ、ふるさと小樽の大切な人材として育つことが求められます。「よりよく」と「ふるさと」の歌詞を繰り返すことで、心を奮い立たせ、未来を切り拓く若者としての自覚を促し、生徒自身と仲間への強いメッセージとしました。

##### 校章デザイン



【制作者】工藤和久さん

～デザインの意味やモチーフなど～

北陵中学校の「H」の文字と小樽の「ガス灯」と「翼」を基調に未来に灯をともし、羽ばたく北陵中学校を象徴的に表現しました。また、中央のガス灯の光は赤で太陽、周りの楕円と翼は橙で光と実り、Hの左側は緑系で大地と青葉、Hの右側は青系で空と海、運河を表し、豊かな自然と風土に恵まれた小樽市を明快にイメージしました。

#### (4)北陵中学校の新しい制服及びジャージ



平成29年4月統合時の1年生から着用する制服及びジャージが決まりました。

<主な機能>

○制服

・ウォッシュャブル性

家庭で洗濯が可能で速乾性があります。

・撥水性

撥水加工により、水滴や油汚れをはじきます。

・ストレッチ性

動きやすく着やすいように弾力性があります。

・消臭機能

消臭機能付き裏地を使用しています。

○ジャージ

・消臭機能

光が当たると臭いの元となる有機物を分解します。

#### (5)統合校の施設整備

北陵中学校は平成28年3月に閉校した旧手宮西小学校の校舎を改修して使用することとしており、バリアフリー化やトイレの洋式化、照明のLED化等の施設整備が行われます。

#### (6)閉校式

平成28年11月5日に北山中学校、12日に末広中学校で閉校式を挙行了しました。

両校は平成29年3月末で長い歴史に幕を閉じ閉校します。



閉校式（左：北山中学校、右：末広中学校）

## 4 平成30年度の統合に向けて

平成30年4月の統合に向けて、関係校ごとに保護者、地域（町会）、教職員の代表者などで組織する統合協議会を設置し、円滑な統合に向けて諸課題について協議を重ねています。

#### (1)花園小学校・入船小学校統合協議会

花園小学校で取り組んできた学校力向上に関する総合実践事業に加え、入船小学校での取組を生かして、より高みを目指す学校づくりを進めることや、菁園中学校との連携の取組をより強化していくことなどが新しい学校づくりの柱として検討されています。

統合校の校名・校歌・校章については、花園小学校のものを使用していくことが決定しました。



統合協議会（花園小学校視聴覚室）

#### (2)緑小学校・最上小学・入船小学校統合協議会

新しい学校づくりの基本的な考え方や「共に育つ学校」を目指した学校、家庭、地域それぞれの役割、「目指す子ども像」と特色ある取組の方向性などを「山の手小学校イメージ」としてまとめました。

統合校の校名が「小樽市立山の手小学校」に決定し、現在、校歌と校章デザインの作成に向け取り組んでいます。



統合協議会（緑小学校図書室）

#### (3)入船小学校・奥沢小学校・天神小学校統合協議会

新しい学校づくりとして、知・徳・体のバランスのとれた教育の推進とともに、学校と地域、家庭等が連携した取組、キャリア教育、健やかな体の育成などを柱とする「統合奥沢小学校の学校イメージ」をまとめました。

統合校の校名・校歌・校章については、奥沢小学校のものを使用していくことが決定しました。



統合協議会（奥沢小学校図書室）